

核医学画像診断装置 Infinia3

平成24年度地域医療広域連携推進事業（設備整備事業）

地域医療再生計画に基づき、地域における保健医療サービスの中核となる自治体病院等の医療機能を高め、地域における医療提供体制の強化を図る目的と近隣の医療機関と広域的な連携を推進するために必要な設備整備事業として平成24年度地域医療広域連携推進事業費補助金の交付を受け整備を行いました。



以下に装置の簡単な特徴を記します。

この製品は、リアルタイム補正を装備した検出器やスリッピング機構など、先進のテクノロジーをしたふんだんに搭載した核医学画像診断装置です。

核医学検査とは、ご微量の放射線薬品を用いて病気の診断をする検査方法です。投与された薬から出る放射線をシンチレーションカメラで撮影することで、目的臓器の形態や機能を苦痛なく調べることができます。また、検査に使用される薬は半減期が短い（放射線がすぐになくなる）ため、放射線による被ばくも少なく、安全な検査です。